

6 章

計画の推進に向けて

# 1. アクションプランの策定に向けて

本計画の施策は、長期的な視点に立って、段階的に進めていく必要があります。そのためには、具体的な推進手法などを定めたアクションプランの策定が必要です。

ここでは、アクションプランの策定に向けて、短期に取り組むべき施策を中心に、中期・長期にわたる施策の取り組みを整理します。

いのちきらめき緑の風そよぐ庭園都市・さいたま

## 基本方針1. 地球環境や首都圏の環境を支える緑を守り育てます

- (1) 緑のシンボルづくり
- (2) 都市の緑の核づくり
- (3) 市街地を包む緑の保全・活用
- (4) 緑の風の道づくり

## 基本方針2. さいたま市らしい身近な緑を守り、つくり、育てます




- (1) 樹木・樹林地の保全・活用・再生
- (2) 農地の保全・活用
- (3) 歴史・文化の緑の保全・育成
- (4) 身近な緑の核づくり
- (5) 魅力ある緑のまちづくり
- (6) さまざまな緑化によるまちなみづくり



































































## 基本方針3. 緑と水と風が息づくネットワークをつくります

- (1) 東西を結ぶ緑の帯づくり
- (2) 安全で健康的な暮らしを支える緑の道のネットワークづくり
- (3) 彩りのある緑の散歩道ネットワークづくり
- (4) 水と風のネットワークづくり
- (5) いのちきらめくエコロジカル・ネットワークづくり

## 基本方針4. 緑のさいたま市民によるパートナーシップを築きます

- (1) 緑を育む意識づくり
- (2) 市民・団体・事業者との協働による花と緑づくり
- (3) 緑の人材の育成と活用
- (4) 市民・団体・事業者の取り組みの支援体制づくり
- (5) 環境に配慮した緑を確保する仕組みづくり

凡例		- 検討・計画
		- 実 施
		- 実現・評価・見直し

特に短期に取り組む施策	短期 (5年以内)	中期 (5～10年)	長期 (10年以上)
見沼田圃シンボル軸づくり 荒川シンボル軸づくり 元荒川シンボル軸づくり 緑のシンボル核づくり			
都市基幹公園などの整備			
まとまりのある樹林地の保全・活用・再生			
緑のシンボル軸などの保全・強化			
樹林地の担保性の向上に向けた取り組みの推進			
市街地の農地の保全			
世界に誇る盆栽文化の保全・育成			
住区基幹公園などの整備			
都心部を中心とした緑の創出 花と緑の駅づくり			
公共公益施設の緑化推進 学校の緑化推進 屋上緑化・壁面緑化の推進			
連続性のある緑や水面の創出			
都市計画道路の緑化推進 街路樹の適切な維持管理の推進			
緑道などの整備			
市街地を流れる緑の風の道づくり			
生き物の生息地・生育地の保全・確保			
緑に関する情報提供の充実			
緑にふれあう機会の提供			
コミュニティーガーデンづくりの推進			
愛着の持てる公園づくり 愛着の持てる樹林地・農地づくり			
緑のボランティア・団体などの育成・支援			
緑の保全・緑化の推進を目的とした基金の創設 緑の基本計画を支える条例などの充実			
環境に配慮した緑化指導の充実			



## 2. 計画の推進を支える取り組み

### (1) 計画の推進を支える体制

計画を市民や団体などとの連携・協働を図りながら推進していくために、以下の体制の強化に努めます。

---

#### 市の行政組織体制の強化

---

計画を推進するうえで、市の取り組みは最も基本となります。このため、市の行政組織体制の強化に努めます。

##### 緑と公園を所管する組織の強化

本計画に基づき、緑と公園に関する施策を推進する組織の強化に努めます。

##### 市の行政組織内の連携の強化

緑に関する施策は、緑と公園部局が推進するだけでは十分ではありません。緑は、公共公益施設や農政、教育など多岐にわたっているため、緑と公園部局が中心となり、関係部局との連絡調整を図り、総合的に推進する体制づくりに努めます。

- ・ 関係部局を含めた事例研究などの勉強会の開催
- ・ 関係部局との連絡協議体制づくり

---

#### 市民などが参加できる体制づくり

---

計画を推進する体制として、市民、ボランティア・NPO、事業者がかかわることができる組織づくりなどを検討します。

##### 花とみどりのまちづくり審議会の活用

今後の施策の推進や緑に関する重要な事項を調査審議するために、市民や専門家などが参加することができる緑に関する審議組織の活用を努めます。

##### 市民が提言できる機会づくり

さまざまな場や方法を活用しながら、一般の市民や事業者が提言することができる機会の提供に努めます。

##### 緑地管理機構の創設検討

緑の保全や創出について専門的に推進する組織として、都市緑地法に基づく緑地管理機構の創設を検討します。

#### 用語解説

協働	( P172)
NPO	( P172)
都市緑地法	( P175)
緑地管理機構	( P176)

---

## 近隣市などとの連携

---

緑は市域を越えて連続しています。このため、近隣市などとの連携の強化に努めます。また、八都県市との連携を図りながら国に対して必要な要望を行います。さらに、国や県が実施する各種の事業との連携を図ります。

## (2) 計画の推進を支える仕組み

体制づくりと一体となって計画の推進をフォローしていくために、以下の仕組みづくりに努めます。

---

### 計画の進行を管理・評価する仕組みづくり

---

本計画を進めていくために、緑被地調査などの基礎的なデータの整備や、各施策の短期・中期・長期の目標を定め、その進行管理に努めるとともに、市が進める施策を評価する仕組みづくりに努めます。このために、市民が参加することができる花とみどりのまちづくり審議会の活用をはじめとして、管理・評価体制などの整備を図ります。さらに、市民に対して施策の実施状況を公表していくとともに、市民の意見を反映する仕組みづくりに努めます。

また、社会情勢の変化などに対応していくため、必要に応じて計画の見直しを行います。

---

### 計画の推進を支える条例などの制度の充実

---

緑の保全や創出にかかわる条例をはじめとした制度の充実に努めます。特に、屋上緑化・壁面緑化の促進を図るために、助成制度の創設と普及に努めます。

---

### 財源の確保

---

緑や公園を保全・整備するためには、用地の取得などに膨大な費用を必要とします。また、整備した公園などの維持管理にかかる経費も必要です。近年の社会情勢の変化により、各事業における財源の確保には厳しいものがありますが、緑や公園は、市民の良好な生活環境づくりに欠かせないものであるため、財源の確保に努めます。

また、限られた予算を有効に活用するために、借地公園や立体都市公園制度の活用、PFI手法などによる民間資金を導入できる仕組みづくりや、国・県の補助制度を活用するなど効率的な施策実施に努めます。さらに、市民や事業者からの寄付金などによる緑の基金の創設とともに、市民公募債の活用を検討します。

#### 用語解説

- 八都県市 ( P175)
- 立体都市公園 ( P176)
- PFI手法 ( P175)